

普及だより

# きみつ

〒292-0833 木更津市貝渕 3-13-34 TEL. 0438(23)0299  
http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-kimitsu/ FAX. 0438(23)6698

発行

千葉県君津農業事務所  
君津地域農業改良普及事業協議会

編集

千葉県君津農業事務所  
改良普及課



生産者全戸の育苗ハウスを巡回(4月)



生産者自ら水田に入って生育調査(5~7月)



収穫後の稲を調査、分析(11月)



生産者・JA・農業事務所が一丸となって活動

若手水稻農家が支える千葉県水田農業  
「互いを高めあうJAきみつ富津市採種組合」

農業生産の出発点は「種子」です。水稻の種子は都道府県知事が指定するほ場で生産されます。君津地域は千葉県最大の種子産地で、4つの種子生産組合があります。そのうちから「JAきみつ富津市採種組合(以下、組合)」を紹介します。

この組合は平成18年に設立され、現在の組合員は7名です。県内の種子生産組合で生産者の平均年齢が最も若く、今後の千葉県水田農業の根幹を支える重要な担い手です。

生産期間中に各種の審査・検査を受け、合格したものだけが種子として流通します。また、施肥の時期や量等、主食用米と異なる栽培管理が必要となることから、生産者には高い技術が求められます。

そこで組合では、優良種子生産に向けた栽培技術の向上を目標に定期的な生育調査を実施して、生育段階に合わせた管理、適期の病害虫防除を実施しています。収穫後には稲のもみ数や節間長等を測るなどの調査・分析によって栽培を振り返り、次年度に生かしています。

このように組合では生産者間で栽培技術の研鑽が継続的に実施されており、更なる活躍が期待されます。

(青木)

## 水稻 ばか苗病撲滅に御協力を

ばか苗病は水稻の種子伝染性病害ですが、近年は発生も少なく、見たこともない、という方も多いのではないのでしょうか？ところが、28年度、県内でこの病気が多発しました。

ばか苗病に感染した株は、健全な株と比較した場合、葉色が淡く、徒長します(図1)。



図1 本田の発病株(葉色淡く徒長)

君津4市では水稻種子の生産が行われています。水稻種子の生産ほ場を「採種ほ」と呼び、水稻採種ほにおいては「ばか苗病」(以下本病)が発生してはならないと定められています。

採種ほの近くで本病が発生した場合は、生産した種子に本病が感染している可能性があります。そこで千

葉県では、採種ほから200m以内に本病が発生した場合は、状況を確認して、場合によっては種子として

不合格とする基準を設けました。すなわち、採種ほのみならず、近くの水田で本病が発生すると種子にできません。

県内での水稻種子生産には、全水稻生産者の御理解と御協力が必要です。

### 育苗時の対策が重要です

採種ほには白い標札(図2)が立てられます。お近くの方は特に御配慮をお願いいたします。



図2 「採種ほ」の白い標札

本病の対策は、種子伝染性のため以下の点に留意します。

#### ①自家採種はしない

自家採種は、採種ほ産種子に比べて本病感染のリスクが一般的に高いので、やめましょう。「割れもみ」が多く混在していると、種子消毒の効果が万全でなくなりま

#### ②種子消毒は確実に

十分な効果が確認されている種子消毒剤を用いましょう。「ヘルシードTフロアブル」の使用をお薦めします。

#### ③発病した苗箱の苗は用いない

温湯消毒は効果が不十分で、基準どおりに実施したとしても本病に対する効果は100%でないことが確認されています。生き残った本病菌は、苗箱の中で発病するとともに苗箱の中で周囲の苗に感染します(図3)。

ここで症状が現れている苗だけ抜き取っても本病は治まりません。苗箱の中で新たに感染した苗は苗箱の中では発病せずに、本田に植え付けられた後に徐々に発病する場合があります。抜き取っても夏まで次々と発病株が現れるのです。

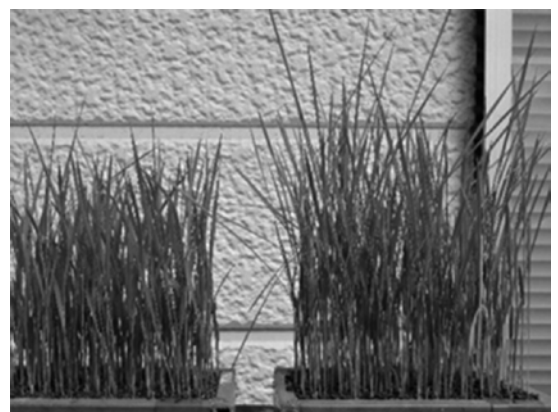


図3 左:健全苗、右:発病苗(徒長)

千葉県では、一般の水稻生産者の方へ上記以外の対策もお願いしています。必要に応じて発生状況の確認巡回をします。その結果、本田での発病苗の抜き取り等をお願いすることがあります。

なお、御不明な点などありましたら農業事務所改良普及課に御連絡ください。



(椎木)



## 新たな基幹品目への取組 （加工・業務向けキャベツ）

君津地域では、最近、加工・業務向けキャベツの生産が増えていきます。JAきみつでは平成21年から加工・業務向けキャベツの取り扱いが始まり、昨年度は、約30戸の生産者が約45haで生産したキャベツを出荷しました。畑での栽培がほとんどですが、富津市天羽地区では基盤整備後の水田で栽培する生産者もいます。

君津地域のキャベツ産地の特徴は、

- ① 厳寒期の出荷
- ② 省力的な作業体系で規模拡大
- ③ 新たな生産者の3点です。

### ① 厳寒期の出荷

君津地域では、温暖な気候を生かし、寒玉系品種を組み合わせて、11～3月、5～7月に出荷しています。カット業者等の実需者からは、関東近県で厳寒期に加工・業務向けにキャベツが出荷できる産地として評価されてきています。



収穫したキャベツを鉄コンテナに詰め込む

② 省力的な作業体系で規模拡大  
市場出荷と比較すると単価が安い加工・業務向け出荷を主体とした経営では、売り上げを確保するために規模拡大・低コストの取組が必須です。取組当初はプラスチックコンテナ（約10kg入り）での出荷でしたが、出荷量が増えてからは鉄コンテナ（約300kg入り）も利用されています。ほ場で収穫したキャベツを出荷容器に直接入れて出荷し、省力・低コストな出荷体制がとられています。生産者の中には、定植機、ブームスプレーヤー等の省力機械を積極的に導入し、10ha以上を栽培する経営も現れています。

### ② 省力的な作業体系で規模拡大

### ③ 新たな生産者

従来から地元で露地野菜経営をしていた生産者に加えて、他県の農業法人で経験を積んだ後に独立した新規就農者や、基盤整備後の水田を活用し水稻主体の経営から転作や裏作で新たにキャベツ栽培に取り組む生産者等が仲間に加わり、地域に新風を吹き込んでいます。

### 今後の発展のために

生産者が3市にわたるため、出荷組織等はまだ作られていませんが、講習会や販売会議、出荷反省会等の機会に、生産者間で積極的に情報交換が行われています。

今年度は、定植のピークに当たる9月に降雨が多く定植作業が順調にできませんでした。更に9月の天候不順で活着不良や初期生育が悪かったこと、11月下旬の降雪で生育が停滞し、小玉傾向となるなど、出荷がなかなか予定どおりにできずに苦労しています。

JAきみつでは、より安定的に出荷をするために予冷库を増設しました。また、加工・業務向けキャベツ

の生産拡大を後押しするため、「加工・業務用野菜生産基盤強化事業（加工・業務用野菜への転換を推進するための国庫事業）」に平成28年度から3年間取り組んでおり、県を含めた関係機関と一体となって一層の生産振興を図っています。



JAの予冷库で出荷を待つキャベツ

今後、キャベツ産地としての評価を向上させるために、安定した品質のキャベツを安定して出荷することが求められています。  
(田中)

# 千葉県オリジナル いちご新品種 「チーバベリー」大人気



平成29年1月から「チーバベリー」の販売が開始されました。

千葉県が開発した「チーバベリー」は、ジューシーで、酸味と甘みのバランスが良く、大粒の実をつけるのが特徴です。

栽培面では、電照が不要でうどんこ病に強いことに加え、観光直売での需要が増加する3月以降の収量が多くなる事が特徴です。

君津地域でも今シーズンは10戸の生産者が栽培しており、いちご狩りや直売でその味を楽しめます。

## 【開発・販売までの経緯】

大粒で味が良く、病気に強

いことを目標に平成13年から交配と選抜を繰り返して、平成27年8月に「千葉S4号」として品種登録されました。

平成27年11～12月にかけて愛称を募集し、応募総数2,678点の中から10点に絞り人氣投票を行った結果、平成28年9月に愛称を「チーバベリー」に決定しました。

まだまだ生産量は少ないですが、週末は千葉県でしか食べられない「チーバベリー」を食べに出かけませんか？

千葉県ホームページ

(<http://www.pref.chiba.lg.jp/han/chigo/chi-baberry7.html>)の「チーバベリー」紹介ページに取扱いがあるいちご狩り園や直売所の一覧を掲載しています。

(吉井)



大きなチーバベリーの果実

## 表彰者の紹介

☆平成28年度豊かなむらづくり全国表彰事業

「農林水産大臣賞」

木更津市観光ブルーベリー園協議会

(木更津市)

協議会では、木更津市富来田地区を中心に耕作放棄地を利用したブルーベリー園の開園、地域内の景観作りを協力して行っており、荒れた土地の伐竹、桜の植樹、休憩所として古民家を再生させる等、里山の風景を取り戻す活動に力を入れています。

また、JRの駅や公民館等へのブルーベリーの植栽、地域イベントでの園や加工品の宣伝、紅葉時期の集客イベント実施等の様々な活動、さらに、協議会の中で女性や若者が活躍している点が高く評価され今回の受賞となりました。協議会の個々のブルーベリー園の経営についても、各園が協力しながらも独自の工夫で個性的な園を作り上げていて、来園するファンが増えることにより地域全体の活性化が図られています。

協議会では今後の活動として、富来田地区に開業予定の道の駅と連携した観光客の取り込みや、来園者を増やすためのイベント実施、高品質な果実の生産とブランド化等を計画しています。より一層、各園、協議会、地域の発展を目指して活動が展開されることを期待されます。

(鈴木)



受賞式の協議会員

## ●4H会員、募集中！

君津地域の若手農業者の会「君津4市4Hクラブ連合会」は、新規会員募集中です。

農業経営者としての資質向上と、同年代の仲間との交流を目的に、毎月の定例会での情報交換やプロジェクト活動(今年は落花生契約栽培)、物販イベントへの参加や地元小学校での農業指導等、楽しく活動しています。まずは見学からでも大丈夫、お気軽に御連絡ください。

(櫻井)

## 農業経営体育成セミナーに 加入しませんか

農業事務所では、概ね45歳までの新たに農業を始めた方を対象に、セミナーを実施しています。3年間のコースで、農業技術や経営に係る研修や先進地視察、先輩農業者との交流、そして同じ年代の農業者との仲間づくり等を行うことで、地域で活躍する農業者の育成を目的としています。関心のある方は、御連絡ください。

(三枝)